

公共施設マネジメント意見交換会の概要（8月4日西武公民館実施分）

1. 開催日時・会場

日 時 平成30年8月4日（土） 午前9時30分から午後12時05分
場 所 西武公民館 2階大会議室

2. 内容

- ①開会あいさつ
- ②公共施設マネジメント事業計画についての説明
- ③意見交換会
- ④閉会

3. 参加者数

参加者 24名

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<西武地区PTA>

No.	発言要旨	応答
1	<p>・ 前回も参加した。中学校の統廃合の方が小学校より先という考えとのことであるが、中学校の統廃合には、問題点も多い。シート 92 の地図を見ると、西武地区は南北（縦方向）に長い形状である。北部には、西武仏子ニュータウンがあり、人口も多いし子育て世代も多い。南部は、加治丘陵が迫っているが、仏子駅から近く、南部にも子どもは居る。中学校を統廃合すれば、他の地区と比較しても通学距離が長い地区になる。宮寺・二本木地区や藤沢地区では、遠くても徒歩 30 分以内で通えると思うが、西武地区の場合、30 分以内では通えない。西武中学校から、野田中学校まで、大人で徒歩 40 分かかる。子ども達を 40 分かけて通わせるのは、無理があると思う。通学時間が長くなれば、子どもへの負担や交通事故への懸念、女子生徒については、犯罪に巻き込まれる要因にもなりかねない。こうした、懸念は、公共施設マネジメント事業計画策定後に検討するという説明であったが、保護者からみると不安が払拭されない。不安が解消されないまま、事業計画が策定されてしまうと、心配でならない。人口や税収の問題は理解できるが、純粋に子どものことを考えると心配で仕方がない。</p> <p>・ 2 点目は、小中一貫校についてであるが、小中一貫教育の是非は抜きにして、地区の南部と北部にそれぞれ学校が残るとするのは良い考えだと思う。先ほど、児童・生徒数が減少することにより教員の人数を確保できないという説明があったが、小中一貫校にすれば、教員の加配が受けられるのではないか。従って、教員の数は増えるのではないか。小中一貫校に関する議論は、教育委員会の関係者が中に入らなければ、先に進まないと思う。本日の説明では、公共施設の複合化と学校の適正規模の内容が混在していたように感じる。人口や税収の問題は公共施設マネジメント推進課が主体で良いと思う</p>	<p>(公マ)</p> <p>・ 通学距離や時間が長くなること、交通事故への懸念は、これまで地区の中からも指摘があった。解決策として、スクールバスの運行や通学路の整備、地域での見守り体制の強化などがあげられている。通学への不安を抱えていることは承知している。いずれの解決策が適しているかについて、現在検討をしている。</p> <p>(公マ)</p> <p>・ これまでの意見交換会については、公共施設マネジメント推進課が中心となって実施してきたため、施設の再整備・再配置といったハードウェアの内容が中心になっていたと思う。ご意見の内容は、教育環境というソフトウェアの内容と捉えている。これまで、教育委員会とは、庁内で調整を行っているが、学校の統廃合については、ハード、ソフトの両面で検討しなければならないと考えている。教員の配置が少なくなると説明したのは、生徒が減り中学校が単独で存在する場合を想定したものである。小中一貫校となった場合は、教員の配置</p>

	<p>が、学校の適正規模、適正配置はデリケートな内容であるため、教育委員会の関係者が説明すべき内容である。</p> <p>他の自治体の事例を見ても、教育委員会が住民に説明をせずに計画を策定することは例がないと思う。</p>	<p>が減らないことも考えられ、この点については教育委員会に確認したい。</p> <p>また、小規模校になれば、きめ細やかな学習指導が可能となるという意見もあった。</p> <p>この他、1校当たりの児童・生徒数を維持して、適正な競争も必要ではないかという意見もあった。</p> <p>各年間行事の実施には、ある程度人数が必要という意見もあった。</p> <p>このように、統廃合のやり方により、それぞれ一長一短あると思う。</p> <p>いずれにしても、教育環境の充実につながるよう、教育委員会と充分協議しながら統廃合の方法を検討していきたい。</p> <p>計画原案を提示する際には、選択した根拠などについても、説明ができるよう準備していきたい。</p>
2	<p>・我が子は、生まれつき足が不自由で、歩行が困難な状態である。</p> <p>単刀直入に申し上げると、約1年半後に小学校に入学するので、エレベータを設置して欲しい。</p> <p>現在、西武小学校にも仏子小学校にもエレベータが設置されておらず、このままでは引越しを考えなくてはならない。</p> <p>普通学級に通いたいので、設置をお願いしたい。</p> <p>本日の説明で、小学校は複合施設になると聞き、この場合、高齢者にも対応した設備が設置されるのではないかと期待している。</p>	<p>(公マ)</p> <p>・現時点で、設置の可否について言及できない。ご了承願いたい。</p> <p>学校の整備については、基本的にバリアフリー化を目指しており、必要に応じエレベータの設置にも取り組んでいる。</p> <p>また、教育環境の充実という観点から、特別支援学級や通級指導教室などについて、施設の整備にも取り組んできた。</p> <p>ただし、現在、小中学校は市内に27校あるが、施設数が多いと必要な施設に必要な設備を十分に投入することができないことも事実である。</p> <p>一例として、トイレの洋式化があげられ、過年度からの課題である。</p> <p>このような状況であるが、エレベータの設置は優先的に取り組む課題であると考えている。</p> <p>公共施設マネジメントの取組では、選択と集中が求められていることをご承知いただきたい。</p> <p>次に、小学校の複合施設について概要を説明すると、小学校の敷地に学童保育室、図書館分館、地域交流スペース（地域住民が集い小学生と交流できる場）を併設することを想定している。</p> <p>また、学校（校舎）と地域住民が訪れる場については、安全面に配慮してそれぞれをハードウェアで分離することを想定している。</p> <p>このことから、エレベータを両者で共有することは難しいと考えている。</p>

		<p>(政策)</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベータについては、バリアフリーの観点からも必要性を認識している。ただし、財源を踏まえると設置の時期について言及できない。障がいを持ったお子さんでも、安心して学校生活を送っていただけるよう介助員を必ず配置することを考えている。全ての施設にエレベータを設置することは現時点で困難であるが、介助員や子ども支援員を配置していきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校の設置については、平成29年度に開催された「地区懇談会」や「住民説明及び意見交換会」でもこの地区の課題となっていたと思う。平成30年度の意見交換会の際、埼玉県内での事例紹介があったが、計画の策定に向け、入間市教育委員会の考えが示されるべきである。野田中学校では、2年位前に野球部の部員が足りず東金子中学校と一緒にチームをつくったという例がある。こうした事例を踏まえると、統廃合の理由が、単に生徒数が少ないからというのは理由にならないと思う。子ども達に様々な体験をさせたいというのであれば、やり方は沢山あるはずである。いずれにしても、教育委員会から教育のあり方(方針)を示して欲しい。学校の教育方針(小中一貫校の是非等)については、計画原案ができる前に聞きたい。 	<p>(公ネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育と小中一貫校については、分けて説明させていただく。小中一貫教育については、既に取り組んでいる。この取組は、効果も出ており、今後も継続される見込みである。一方、小中一貫校については、埼玉県内で事例も出てきているが、入間市教育委員会単独で方針を決めることはできないことである。小中一貫校の導入については、多くの意見をいただいているため、入間市教育委員会でも検討をしているが結論がすぐに出せるものではない。このことから、結論を説明できる時期は未定である。教育委員会の方針を示すことについては、施設(ハードウェア)と教育環境(ソフトウェア)の両方の視点で検討していかなくてはならない。教育委員会の一つの方針として、「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」を示しているが、これに加えて統合した場合の教育環境に関する考え方について、市民の皆様の説明できるように準備していきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 社会環境の変化から、統廃合の必要性を感じている。良い統廃合をするのであれば、利便性を損なわないようにしなければならない。西武地区の地理的特性を考慮すると、(昨年市が示した案では)利便性が大きく損なわれる可能性が見受けられる。これまでの意見交換を踏まえると、仏子地区と野田・新光地区に小中学校を1つずつ残せる小中一貫校は一つの代替案として良いと思う。校舎の築年数で、今後残す学校を決定することはやめた方が良い。統合するのであれば、交通インフラが整 	<p>(公ネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の配置については、どこに配置しても距離が近い方、遠い方それぞれ出てしまう。配置については、なるべく地域全体の負担が少なくなるよう配慮していきたい。ただし、配置を変えようとすると、場所の問題や新たに用地を確保することになるので、違った面での課題も発生する。これまで、各地区で意見交換会を開催してきたが、都市整備と学校の配置というのが大きな課題であるということが見えてきた。元々地区に存在した歴史のある学校が、

	<p>った場所を選択するなど、利便性に配慮すべきである。</p> <p>市街化調整区域にある学校は、跡地活用の面で課題になっていると聞き及んでいる。</p> <p>将来、なぜその学校を残すことにしたのかということをしかりと説明できるよう判断をして欲しい。</p>	<p>児童・生徒数が減少する一方、新たに宅地開発され整備された学校の方が児童・生徒数が多い状況となっている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、人数の多い学校を残して少ない学校を廃止すれば良いという考えもあるかもしれないが、後でできた学校は地域の外れにあるケースが多く、今後のまちづくりを考えると、単純にそれで良いということではない。</p> <p>指摘のあった内容は、公共施設の配置を検討する上で大きな課題であると認識している。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> • 地区内に小学校、中学校が1施設ずつの配置であるという点、利便性の問題は中々解決できないと思う。その点、小中一貫校を仏子地区、野田・新光地区に設置するのであれば、小中一貫教育の成果は別にして、利便性の課題はある程度解消される。 <p>教育委員会で義務教育学校等を設置するという計画を、それが市長部局の策定しようとする計画との矛盾が生じた場合は認められないと思う。</p> <p>具体的には、市長部局で各地区に小学校、中学校の配置は1校としてしまうと、小中一貫校を地区に2校設置することが教育委員会側で事実上できなくなるということである。</p> <p>そこで、これから市長部局で策定する計画には、義務教育学校を検討するという事項を記しておけば、今後の変化にも柔軟に対応できて良いと思う。</p> <p>義務教育学校については、国庫負担もあるので、市長部局にとっても悪い話ではないと思う。</p> <p>一方、教育委員会にとっても、小中一貫校にすることで、現在実施している小中一貫教育が実施し易くなるはずである。</p>	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小中一貫校とすることは、公共施設マネジメントの視点から見ても、施設数を減少することができ、より充実した環境整備ができるため、基本的な考えとしては適合している。 <p>小中一貫校の導入の是非については、教育委員会が判断すべき事項である。</p> <p>現在、教育委員会と調整を続けているが、今後導入が考えられるのであれば、公共施設マネジメントの計画にも、小中一貫校の可能性を記述していきたい。</p> <p>小中一貫校の導入は、今年度中に結論が出ないかもしれないが、導入の可能性があるのであれば、それに応じた記述をしたい。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> • 公共施設マネジメントにより、施設をダウンサイジングして、不要となった費用で他の施設の整備費に充てることは理解した。 <p>視点は異なるが、「入間市の強み」とは何だろう。</p> <p>施設を再整備・再配置した先に、「入間市は住みよいまちを作っています」ということを対外的にアピールできるよう、将来を見据えてマネジメントしていただきたい。</p>	<p>(政策)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入間市の強みについては、首都圏にあっても自然が豊かであるということが一ついえる。 <p>また、自治コミュニティもしっかり形成されている。その上で、地域の文化や伝統が継承されている。</p> <p>こうした部分は、強みとして後世に残していきたい。</p> <p>人口減少、人口構成の変化への対応、厳しい財政状況といった課題があり、こうした状況に応じた規模の縮小は必要である。</p> <p>縮小については上手く縮小し、次世代に</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の配置やそれに伴う通学については、保護者として不安がある。 例えば、路線バスの活用や入間川を渡る人道橋の設置など様々な方策を検討して欲しい。 ・公共施設マネジメントの計画では、今後の高齢化を見据えた介護施設のことが触れられていない。 介護施設についても、配置や管理を他の公共施設と一緒に考えて欲しい。 いずれにしても、学校や他の公共施設と一緒にアピールができるよう、まちづくりの視点で検討して欲しい。 	<p>つなげていくことが重要である。 PRについては、シティセールスに取り組み、平成29年度に組織体制を見直した。 平成30年度は、シティプロモーション計画の策定を広報課と企画課政策推進室の両課で進めている。 公共施設マネジメントの計画を含め入間市の良いところを市民の皆様にご存知いただくことが第1段階である。 その上で、対外的に広めていきたい。</p> <p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学については、これまでいただいた意見を含め、今後十分に検討していきたい。 <p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設については、入間市では公営の施設が存在しない状況である。 従って、民間施設を誘致する方策等については、別の問題として扱いたい。 なお、「地区センター」については、地域のコミュニティを支援する施設としたいため、人員配置などには配慮していきたい。 また、地域のワンストップ窓口として整備していきたい。 この施設には、福祉総合窓口や自治振興支援機能が入るため、地域コミュニティの支援につながると考える。 公共施設マネジメントを考える上では、今後の地域(まち)づくりを見据えていかななくてはならない。 地区センターは、こうした地域づくりにも深く関与していきたい。 介護の問題についても、地域の問題として考えていかななくてはならない。 地域の課題解決策を地域で充分検討し、住みやすさにつなげていきたい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市が考えていることは、社会情勢などを考慮するとやむを得ないと思う。 中学校については、西武中学校、野田中学校いずれに統合しても距離が遠くなる生徒は出てくる。 従って、遠くなる生徒に対する対応策を提示してもらえれば、保護者の不安は減ると思う。 例えば、遠い生徒に対しては、部活動で使用する用具を学校へ置いておけるよう 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統廃合における学校の受け入れ態勢等、一つの提案としてお聞きし、今後の検討の参考にしたい。 今後、保護者の方の不安を軽減できるよう努めたい。

	<p>にロッカーを設置するというのはいかがか。 この他、自転車通学についても検討してみてもどうか。 なお、学校には、それに応じた設備を設置する。 このように、遠い生徒へのケアを是非考えていただきたい。</p>	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の空き教室を利用して学童保育室を設置するということには驚いた。 学校という教育委員会が所管する施設に市長部局の施設を入れることができるのか。 私たちの願いとしては、学童保育室の規模を拡大してもらい、希望しても入れないという児童が居ないようにしてもらおうことである。 ・ 学校の中に図書館分館が設置されることについては、理解ができない。 図書館は、誰でも利用できる施設であるので、セキュリティの問題がある。 また、自動車で来場する方も多いと思うので、不安である。 校庭の中を一般の方が通るといのは理解ができない。 ・ 現在、市内に小学校が16校存在するが、これが9校になってしまうのは、減らし過ぎではないか。 「住みよいまちを作ります」ということに逆行しているのではないか。 一般的に、学校を含め公共施設の近くに住みたいと思うものではないか。施設が減るといことは、他の自治体から引っ越してくるなどと言っているようなものである。 また、少子化の問題にも逆行しており、地域で子育てをしていくことにも逆行している。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育室については、公共施設マネジメントの計画に合わせ、学校敷地内に配置されてない施設を敷地内に入れることを目指している。 ご指摘のように校舎内に全てを入れることができるかは、校舎の条件により異なるため言及できないが、教室の空いている状況や希望者の推移などを考慮して、それぞれの学校に合った対策を講じていきたい。 なお、放課後の児童の安全を考えると学校敷地内に設置すべきと考えている。 (公マネ) ・ 図書館分館については、セキュリティを確保することが前提である。 学校の複合化については、文部科学省でも推奨しており、地域の拠点施設に様々な機能を併設する複合化というのは、全国的にも事例が増えている状況である。 学校の複合化については、子ども達と一般利用者の立入エリアを区分する考えである。 複合化により、学校側からも図書館を利用することができるため、教育環境の充実も図れると考えている。 セキュリティに問題があった場合や教育環境の充実に結び付かない場合は、再考の余地は残されている。 (公マネ) ・ 学校の適正規模、適正配置については、他の地区の方からも指摘があり、充分考えなければならない問題と捉えている。 ただし、教育環境という面での適正規模については、「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」により、小学校については、各学年2～3学級が適正規模としている。 これが、教育環境の充実につながる規模ということで、この学級数を下回った場合、教育環境を保つ上でも統廃合を検討

		<p>しなければならないと考えている。</p> <p>西武地区の小学校は、この規模を下回っていないため、統廃合は少し先の話ということになる。</p> <p>それぞれの地区に学校があるというのは魅力であるというご意見は、他の地域からもいただいているが、学校の規模が適正規模以下ということは、地域のマイナス要素になることも考えられる。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど、学校の問題は、ソフトウェアとハードウェアの両方の視点で検討する必要があるという説明があったが、両方の見解を聞くことができる時期はいつごろか。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> シート 100 に記してある通り、市民の皆様からの意見をもとに、計画原案を作成する予定である。 原案ができた際は、その内容を平成 31 年 2 月に説明する予定である。その際は、ソフトウェア、ハードウェア両方の考え方を説明する予定である。
10	<ul style="list-style-type: none"> 学校の統廃合により通学距離が遠くなるのが心配で、本日の意見交換会に参加したが、統廃合の他に複合化についても話を聞くことができた。 小学校の複合化により、学校関係者以外の方が敷地内に入ることには不安がある。 また、現在の図書館西武分館の状況を見ると、駐車場不足の問題が慢性化しているとともに、駐車場内での安全対策も課題である。 こうした状況を踏まえると、小学校と図書館分館の複合化に不安が残る。 小学校の周辺道路は幅員が狭く、図書館利用者が自動車で通過することを考えると不安である。 このことから、学校から遠い通学路の整備の問題とともに、学校周辺の道路整備も必要だと思う。 近年、学校から不審者情報がメールで頻繁に送信されてくる(1ヶ月に1~2回程度)。 統廃合については、通学距離が遠い児童・生徒に対するスクールバスの導入だけで対策を終えてしまうのではなく、通学路の整備なども行い、全ての対策を講じてから実施して欲しい。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学や通学路の問題は、他の方からも指摘を受けており、今後、不安が解消されるよう充分検討していきたい。
11	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメントについては、「人間市に住んで良かった」という気持ちになるよう、私自身も考えていきたい。 先ほどから、ソフトウェアとハードウェアを一緒に考えていかななくてはならないという話は出ているが、市民として、「教育環境」について、教育委員会の考えを聞きたいと思う。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の皆様から頂いた意見は、市役所へ持ち帰り、情報共有をしている。また、計画策定に向けて、課題を踏まえた協議を行っている。 現在、策定を進めている公共施設マネジメント事業計画(原案)がまとまった際は、教育環境に関する考え方を含めて、

	<p>是非、教育委員会から考えを聞く機会をつくって欲しい。</p> <p>本日の意見交換会に、なぜ教育委員会関係者が同席しないのか。</p> <p>議会で、教育環境の考え方について取り上げてもらえれば、より明確になるのだろうか。</p>	<p>説明したいと考えている。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> 以前から、学校の統廃合の噂はあった。統廃合により、通学距離が長くなることが不安な点である。 自宅から遠い方の学校へ統合した場合、徒歩で40～50分要すことが分かった。 不審者情報も頻繁に来ており、部活動などで帰宅時間が遅くなった場合には不安である。 スクールバスを導入する案も出ていたが、部活動の練習時間に合わせて運行される訳ではないので、利用に不安が残る。 今後とも、統廃合の計画は注視していきたい。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学の問題については、本日多数の意見をいただいたので、計画づくりの参考にさせていただきたい。 不審者対策についても、不安が解消されるよう、検討したい。
13	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメントについては、まちづくりのビジョンがあって、公共施設の再整備・再配置といった構成が良いのではないか。 その中では、財政や人口減少の課題があるため、その対応策を各分野の視点で示すといった流れが良い。 今回のように、市政の様々な問題を公共施設マネジメント推進課で受けるのは、厳しいと思う。 所管課の職員が同席して、市民意見を聞き、公共施設マネジメント推進課は統制する立場ではないかと思う。 公共施設マネジメント事業計画については、各分野の意見を聞いて良く考えてから策定しても遅くない。市の計画策定が急ぎ過ぎているように感じる。 この問題については、地域の中で、住民同士が情報を共有して、話し合う場を設定することが必要ではないか。 	<p>(公マネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> この問題は、指摘の通り公共施設の再整備・再配置だけの問題ではない。 地域のまちづくりを考える中で、公共施設の再整備・再配置も一緒に考えるということが重要である。 公共施設マネジメント事業計画は、平成31年3月に計画がまとまったとしても、10年ごとに見直しをすることが想定されている。 見直しに向けては、改めて地域の方に意見や考えをお聞きする必要がある。 その際は、公共施設にテーマを絞らずまちづくりの視点でお聞きできると良い。 今後、行政として、地域の意見をお聞きする仕組みづくりについても考えていかななくてはならないと感じている。